

Topic



「ウポポイ（民族共生象徴空間）」

～「慰霊施設」（墓所・慰霊行事施設・モニュメント）完成～

営繕整備課

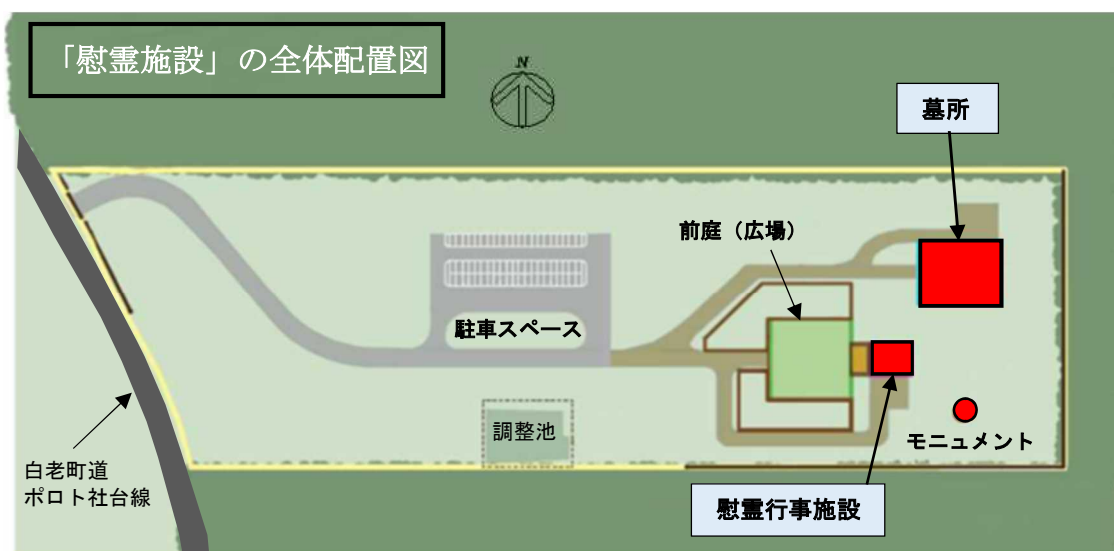
2020年4月24日、アイヌ文化の復興・創造の拠点、そしてアイヌの歴史・文化に関する理解促進の拠点となる「ウポポイ（民族共生象徴空間）」が北海道白老町に誕生します。

現在、北海道開発局が主体となり整備が急ピッチで進められる中、「慰霊施設」の墓所・慰霊行事施設・モニュメント等が完成しましたのでご紹介いたします。

（※営繕部は「慰霊施設」では墓所・慰霊行事施設を整備しています。）

<慰霊施設の整備方針>

- 「慰霊施設」は、現在大学等で保管されているアイヌの人々の遺骨等について、アイヌの人々による受け入れ体制が整うまでの間の遺骨等の適切な管理と尊厳ある慰霊の実現を目的として、白老町ポロト湖東側の太平洋を眺望できる高台に整備されました。



■墓所

遺骨及び副葬品の保管室のほか、遺骨等の整理や返還に必要なスペース、遺骨等の一時保管室、その他設備スペース等で構成されており、外観はシンプルで明るいイメージとし、正面外壁にアイヌの墓標をイメージしたレリーフを装飾しています。

所在地	北海道白老郡白老町字白老 615 番地
敷地面積	44,773.84 m ²
建築面積	816.59 m ²
延べ面積	816.59 m ²
構造・規模	鉄筋コンクリート造 平屋建て
企画・設計監修	北海道開発局 営繕部
基本・実施設計	株式会社アトリエブク
施工	りんかい日産建設株式会社 北海道支店（建築） 株式会社トーエネック、拓北電業株式会社（電気） ダイダン株式会社（機械）



レリーフ体型
Pca パネル



「墓所」西側正面



遺骨保管室納骨棚



廊下



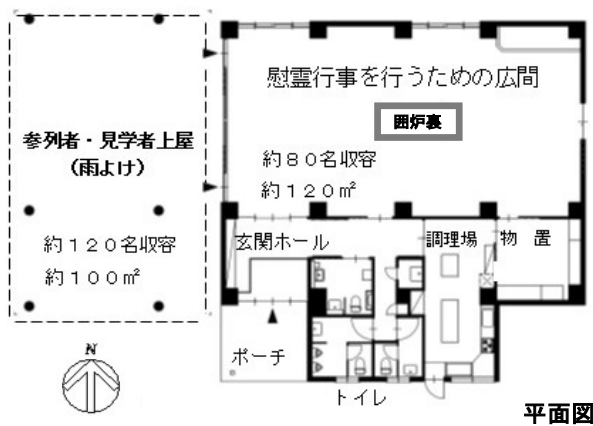
南西面

■慰霊行事施設

儀式（カムイノミ）・舞踏等の慰霊行事を行うための広間、調理場、物置、トイレで構成されており、外観はアイヌの伝統的な住居建築（チセ）をイメージしています。

所在地 北海道白老郡白老町字白老 615 番地
敷地面積 44,773.84 m²
建築面積 236.31 m²
延べ面積 199.71 m²
構造・規模 鉄骨造（本屋）一部木造（下屋）平屋建て

企画・基本設計 北海道開発局営繕部
実施設計 株式会社澄建築設計事務所
工事監理 有限会社タック
施工 鉄建建設株式会社（建築）
株式会社新興電気（電気）
株式会社日栄工業（機械）



儀式を行うための広間



「慰霊行事施設」西面

モニュメント

■モニュメント・前庭（広場）・駐車スペース

慰霊施設を象徴し、民族共生の理念を表現するモニュメントが設置されています。その外観は、アイヌ紋様（アイウシ、モレウ等）をあしらい、アイヌの人々が儀式で使用する木製の祭具（イクパスイ）をモチーフとしています。

また、慰霊行事への参加者が集い、慰霊行事の一環として舞踏等を実施するための前庭（広場）及び来訪者のための駐車スペースなども整備されました。



「ウポポイ（民族共生象徴空間）」の主な関連リンクは、以下のとおりです。

○ウポポイポータルサイト

<https://ainu-upopoy.jp/>

○アイヌ政策推進会議／内閣官房アイヌ総合政策室

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/ainusuishin/symbolic_space.html

○北海道開発局ホームページ

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ud49g7000000ao02.html>

○国土交通省ホームページ

http://www.mlit.go.jp/hkb/hkb_fr1_000001.html

○文化庁ホームページ

<http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/ainu/>

○北海道ホームページ／民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク

http://www.akarenga-h.jp/symbolic_space/

○白老町ホームページ

<http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/docs/2016081600013/>